

平成25年度施策評価調書

整理番号	6
評価担当課	市立総合病院 診療部 診療情報管理科

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	地域医療機関相互の連携強化(病院事業会計)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	2	地域医療の充実

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	地域医療の充実のため、限られた医療資源を最大限活用し、地方・地域センター病院である名寄市立総合病院と、プライマリケアを担う国保診療所や開業医とが役割分担を行いながら病診連携、大型医療機器の共同利用等を進め、市民並びに圏域住民の命と暮らしを守る。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	病診連携(紹介・逆紹介) 大型医療機器の共同利用 地域医療支援室運営事業(医師派遣等)
施策の課題	地域医療支援室運営事業では、近隣の病院・診療所に医師派遣しているが、市立病院においても、医師確保が十分でないため、要望に応えられていない部分がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度 (26年度)
病診連携	紹介・逆紹介の数	目標値				
		実績値	10,960	9,323	11,559	
		進捗率				
地域医療支援室運営事業	医師・特別医師派遣述べ日数	目標値				
		実績値	556	586	553	
		進捗率				
大型医療機器の共同利用	CT、MRI等の共同利用	目標値				
		実績値	60	20	7	
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	市立病院においても、医師確保が十分でないことから、医師派遣等の事業が、地域の病院・診療所の要望に応えられていない部分がある。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、医師が働きやすい環境の整備に努めることで医師確保を図り、病診連携・医師派遣等を進めていく。

6 外部評価の意見等

1次評価のとおり

7 2次評価の意見等

道北地方における医師不足はあるものの、センター病院である市立病院と、プライマリケアを担う国保診療所、開業医とは、役割分担を行いながら病診連携を進めている。医師派遣事業等で課題はあるものの、医療機関相互の連携強化は着実に進展していることから、評価はAとする。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	道北北部連携ネットワークシステム整備事業	道北北部の医療機関をネットワーク連携するための機器を導入設置する。	45,116	a	a	a	a	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)